

# コロナの嵐に立ち向かう

---

2021年 召天者記念礼拝

三滝グリーンチャペル

## マルコ福音書 4章35～41節

---

その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われた。そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。しかし、イエスは艫の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。

---

イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。

# 人生の嵐

---

- 新型コロナウイルスは全人類を襲った「嵐」
  - 私たちの人生には予想外の出来事が起こる
- 予想外とは言っても実ははじめてではない
  - 「かつてあったことは、これからもあり、かつて起こったことは、これからも起こる。太陽の下、新しいものは何ひとつない。」コヘレトの言葉1:9
  - ガリラヤ湖ではしばしば突然の嵐が起こった
- 人類もこれまで何度も感染症に襲われた
  - しかし私たちはその度に慌てふためいている！

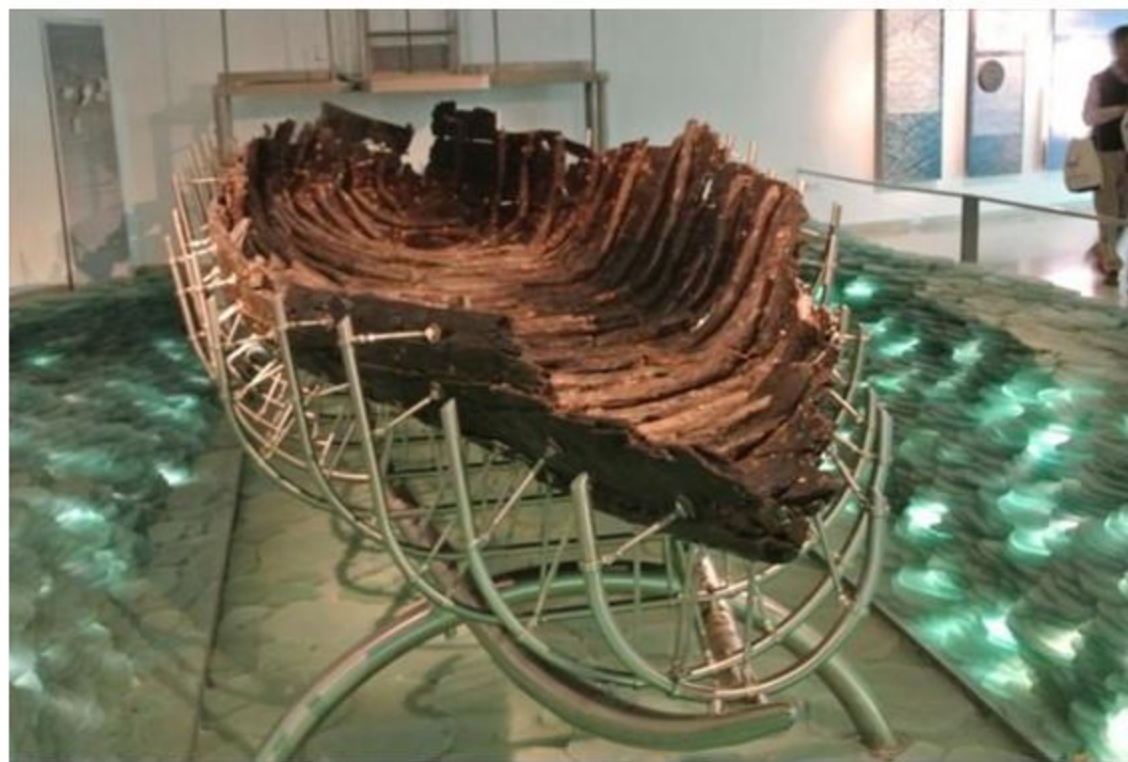
# パニックに陥った弟子たち

---

- 突然の嵐に見舞われ弟子たちは慌てた
  - 「舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった」
- 弟子たちはイエス様を起こして責めた
  - 「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」
  - 一人で「枕をして眠っておられた」から
  - 舟を出させたのはイエス様だったから
- 弟子たちは漁師で舟を操るプロだった！
  - イエス様は大工だった

# ガリラヤ湖で発掘された舟

---



長さ8.2m  
幅2.3m  
(畳10畳ほど)

# 予期せぬ出来事＝パニック

---

- 予期せぬ出来事に直面するとパニック状態に陥ってしまう
  - 激しく混乱する
- パニック状態に陥ると
  - 冷静な判断ができなくなる
  - まわりが見えなくなる＞自分勝手になる
  - 誰かを責める＞誰かのせいにする
  - 冷静な人を見ると余計にイライラする！

# 熟睡しておられたイエス様

---

- 大嵐の中で「枕をして眠っておられた」
  - 木の葉のように揺れる舟
  - ザバザバとかかる水
  - そんな中で「本格的に」眠っておられた
- なぜイエス様は熟睡できたのか
  - よほど疲れておられたのか
  - 舟が沈むことを全く恐れておられなかった
  - 死を恐れておられなかった
  - 命を完全に創造主に委ねておられた



# 嵐を静められたイエス様

---

- 嵐を叱りつけたイエス様
  - 「嵐を叱り、湖に、『黙れ。静まれ』」
  - 安眠を邪魔されたから？
- 嵐を静めることはできるけれどもされなかった
  - 嵐に対する弟子たちの反応を見ておられた
  - ★ここに神様の関心がある！
- 弟子たちを非難されたイエス様
  - 「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」

# イエス様は何を責められたのか

---

- 「なぜ怖がるのか」
  - 弟子たちがパニックに陥ったことではない
  - 弟子たちがご自分を起こされたことでもない
  - 弟子たちが(死を)怖れていたこと
- 「まだ信じないのか」
  - この舟は決して沈まないということ？
  - この嵐は必ず止むということ？
  - イエス様は絶対に助けて下さるということ？
  - 私たちの命は創造主の手に委ねられているということ

# 創造主の前で問われること

---

- 創造主の所に帰った時、何が問われるか？
  - いくら稼いだか？どれだけまじめに暮らしたか？
  - どれだけ人に優しくしたか？人を愛したか？
- 「創造主を信じて生きたか否か？」
  - 人生で遭遇する様々な嵐はそのことに気付く時
- 創造主を信じるとは、命の与え主である方を中心にして生きることである
  - あなたを造って下さった方があなたの心のどの位置を占めているか？

# 創造主(神)を信じるとは

---



# 創造主(神)を信じるとは

---



# マルコ福音書4章40節

---

イエスは言われた。

「なぜ怖がるのか。

まだ信じないのか。」